

第4学年社会科学学習指導案

平成29年6月20日(火)

第6校時(14:25～15:10)

江東区立南陽小学校

4年2組(33名)

導者 長久保 良太

四年部会研究主題

よりよい地域社会について自ら考えようとする子供の育成
～自分とのかかわりで地域社会をとらえ、表現しながら考えを深める指導の工夫～

1 小単元名 「地震からくらしを守る人々」

2 小単元の目標と観点別評価規準

(1) 小単元の目標

地震の被害などを知り、その対策や事業に関心をもち、関係機関や地域での取組について見学・調査したり、資料を活用したりして調べ、地震への対処や防災の取組にかかわる関係機関や地域の人々の活動、工夫について理解するとともに、地域の人々の安全な生活を守るための関係機関の働きや、そのために地域社会の一員として自分にできることを考えようとしている。

(2) 観点別評価規準

ア：社会事象への 関心・意欲・態度	イ：社会的な 思考・判断・表現	ウ：観察・資料活用の 技能	エ：社会的事象について の知識・理解
① 地震の被害などを知り、その被害の大きさや、地震から人々の安全を守る対策や事業、人々の働きに関心をもち、意欲的に調べている。 ② 人々の命や安全な生活を守るために、関係諸機関や地域の人々が努力をしたり、協力したりしていること の理解に基づいて、自分も地域社会の一員として人々の安全を守るために協力しようとしている。	① 地震への対処や防災の取組について問題意識をもち、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ② 地震への対処や防災の取組が、人々の安全を守ることに役立っていることを、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	① 施設・設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査を行ったり、写真や統計などの資料を活用したりして、地震への対処や防災の取組について、必要な情報を集め、読み取っている。 ② 調べたことや考えたことを分かりやすく整理し、作品等にまとめている。	① 関係諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていることを理解している。 ② 関係機関は地域の人々と協力して地震への対処や防災に努めていることを理解している。 ③ 地震から人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を理解している。

3 小单元について

本小单元は、第3学年及び第4学年の内容(4)を踏まえて設定した。

(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係諸機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

ア 関係諸機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

取り上げる事例については、災害として火災、風水害、地震などが例示されている。通常、児童にとっての身近さ、追究の難度などを考慮し、火災を取り上げる実践が多いが、本実践では、「地震」を事例として取り上げることとした。

児童が生活の中で最も多く経験している災害が地震であり、本校でも防災教育、安全指導、避難訓練などでも地震に関わる内容を多く扱っており、一番身近に感じることができていると考えたからである。また、江東区は、海拔0m地帯が多く、先の東日本大震災において都内における液化化被害が深刻であったことから、児童にとっても危機意識がもちやすく、教材化に適していると考えた。

視点を変えて災害の面から見ていくと、大地震が発生すると、火災、倒壊、地割れ、停電、交通機関の停止等、様々な被害が同時多発的に広範囲で起こるといった特徴がある。そのため、火災や風水害以上に関係機関相互の連携、地域住民との連携が重要になってくる。また、被害が広範囲にわたるため、発生直後における地域住民間の協力、連携が必要不可欠になってくる。さらに、地震は絶対に防ぐことができないため、少しでも被害を減らすために発生に備えた取組の重要性が非常に高い。

「東京都防災ガイドブック」(平成28年3月、東京都総務局総合防災部防災管理課発行)には、地震による都の被害想定が示されており、「今後30年以内に南関東で直下型大規模地震が発生する確率は70%と言われている」(地震調査研究推進本部の発表による)と明記されている。4つの地震が想定されており、実践を行う江東区の想定震度は以下のようにになっている。

- | | | | |
|------------------|----|----------|----|
| ・首都直下地震(東京湾北部地震) | 6強 | ・多摩直下地震 | 6弱 |
| ・海溝型地震(元禄型関東地震) | 6強 | ・立川断層帯地震 | 5強 |

いずれの想定においても、震度が大きい地域であり、その面でも地震災害の防止について学習する意義は大きいものと考えられる。

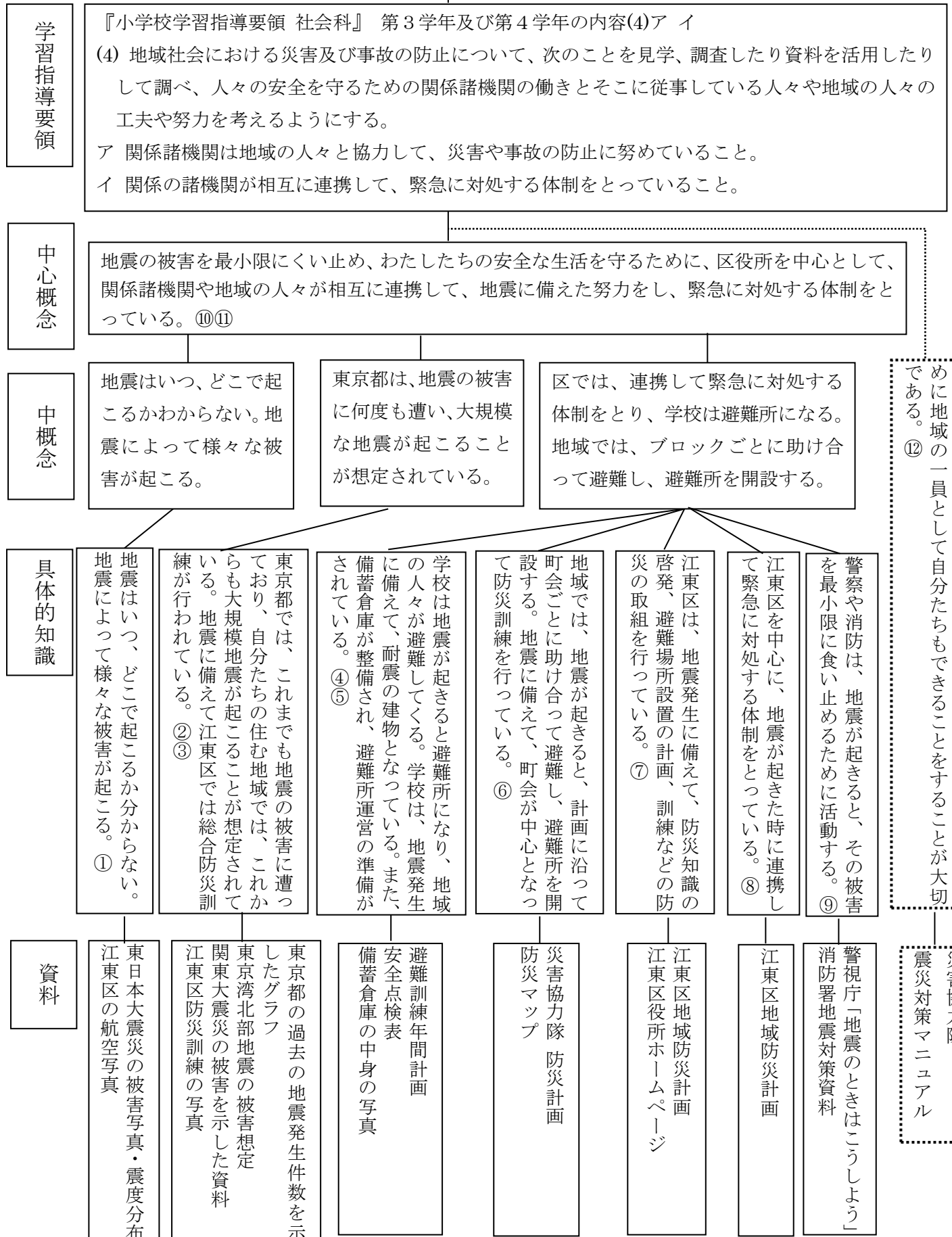
江東区では、地震をはじめとする災害に中心となって対応する部署として「防災課」が設置されている。災害の発生時には、防災課職員を中心として、緊急時の諸機関の情報伝達や災害後の対応に当たることになっている。また、区長を長とする「区災害対策本部」を設置し初期対応並びに市民の避難等に対応することが「江東区地域防災計画」において明記されている。これを受けて、江東区では年に5回「総合防災訓練」を実施している。その内訳は、「防災関係機関訓練」(1回)、拠点避難所に指定されている区内小・中学校(輪番制)での「地域訓練」(4回)となっている。その他、区では、無線を活用したネットワークの構築や、ホームページを活用した情報提供、防災関連のメール配信システムなどに取り組んでいる。区内には、町会・自治会の自主防災組織「災害協力隊」が313隊(平成28年7月1日現在)あり、地域での取組体制が整っている。区立小・中学68校が各地域の拠点避難所となっており、その他127か所の避難所よりも先に開設される。拠点避難所は、避難者の受け入れの他、防災無線の配備や、応急医療活動、災害に関する情報提供、食料等生活に関わる物資の配給場所としての機能を有しており、災害協力隊の活動拠点ともなる。

本小单元の学習を通して、関係諸機関や地域の人々が協力して地震への対処や防災の取組に努めていることや、相互に連携して緊急に対処する体制をとっていること、災害への対応力を高めるために訓練などの取組を行っていることを実感させたい。そして、自助・共助・公助それぞれが災害対応力を高めることや、連携することの重要性に気づかせ、自分がどのように地震への対処や防災の取組にかかわっていけばよいのかを考えさせたい。

4 教材構造図と目指す子供像（丸数字は取り扱う時数）

【目指す子供像】

区や地域の人々の取組によって、わたしたちの命や安全な生活が守られている。だから私も地域の一員として、自分にできることを考えて行動しよう。



5 児童の実態

省略

6 研究主題に迫るための具体的な手だて

全体主題

よりよい社会の形成に参画する資質・能力の基礎を培う社会科学習
～社会的事象の見方・考え方を働かせ、社会認識を深める学習を通して～

4年部会研究主題

よりよい地域社会について自ら考えようとする子供の育成
～自分とのかかわりで地域社会をとらえ、表現しながら考えを深める学習を通して～

本部会では、全体主題を踏まえた上で、上記の部会研究主題を設定し、具体的な手だてを講じ、検証することとした。

(1) 社会生活についての理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の工夫

①自分と地域社会とのかかわりを意識できる教材

自然災害の一つである地震がいつ自分たちの地域で起きるかもしれないという切実感をもてるように、東日本大震災等の大地震の被害を江東区に置き換えたり、東京都でこれまでに起きた地震件数グラフで時間的、空間的な視点でとらえられたりするようにする。その上で、地震への対処や防災の取組を自分のこととしてとらえ、自分の生活や行動とのかかわりを意識しながら、地震への対処や防災の取り組みの様子やその意味、携わる人々の工夫や努力等を主体的に追究し、考えられるようにする。

②地域社会において実際に社会に参画している人の工夫や努力、思いや願いが分かる教材

区役所防災課の方、町会長、副校長、マンションの管理組合長の方など、地域社会をよりよくしようと実際に努力している人々を教材として取り上げ、その方たちと直接かかわることによって、携わる人々の働き、思いや願いを実感できるようにする。

③社会の一員としての自覚が高められる教材・これからの地域社会についての考えを深められる教材

「いかす段階」において、地域の課題に応じてマンションとして独自に災害協力隊を組織しているAマンションの取り組み、そのリーダーである管理組合長さんの話を取り上げ、地域社会の一員としてよりよい地域社会のための活動の大切さに気付き、自分でも何かやってみようという意欲を高める。

(2) 社会的事象の見方・考え方（追究の視点と方法）を働かせて追究する指導の工夫

①社会的事象の見方・考え方を働かせる「問い」の工夫

単元の学習全体を通して、子供が、社会的事象の見方・考え方を働かせて自ら問いがもてるように、教材や指導を工夫する。その上で、各学習過程において子供がもつであろう問いを意識して学習を展開する。

②実際に社会に参画している人々と交流する活動

区役所を中心とした地震に備えた取り組みや連携の様子は、子供の日常生活においてはあまり見る機会がない。そこで、その取組を具体的に追究するとともに、そこに携わる人々の工夫や努力、思いに直接触れることができるように、様々な人々を教材として取り上げる。そして、直接、見学や聞き取り調査等の具体的な活動を通して追究を展開し、様々な立場の人々が連携、協力していることについて考えられるようにする。

③思考を整理し深めるための図や表を使って、自分の考えを深める指導

関係諸機関相互の連携や自分たちの生活とのつながりを関連的に考えることができるようにまとめていく。その際、警察の学習を活かしながら、「関連図」のよさに気付けるようにまとめられるようにする。さらに、「まとめる段階」において、それらを活用しながら、全体の「関連図」を完成させる。また、「関連図」の中に「自分」をどこに位置付けるか話し合うことを通して、自分とのかかわりにおける考えを深められるようにする。

(3) 児童に養われる資質・能力の評価方法の工夫

①各学習過程における目指す児童像を具体的に設定し、指導に生かす。

「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」の各学習過程において、目指す児童の姿を具体的に設定するとともに、常にその姿を意識しながら児童の学びの様子を把握し、個に応じた指導、子ども同士のかかわり、支援の充実を図る。

学習過程	児童に養われる資質・能力の評価方法の工夫	社会生活についての理解を深め、社会との関わりを見つめ直す教材の工夫	主体的で対話的な深い学びを実現する問題解決的な学習の充実に向けた工夫 社会的事象の見方・考え方を働かせる「問い」の工夫
つかむ	<p>〈目指す児童像〉 地域や自分たちの生活には、大地震によって様々な被害が起こることを時間的な見方・空間的な見方を働かせて具体的にとらえ、安全を守る人々の取り組みやその必要性に関心を高め、誰が、何を、どのように行っているのか、警察の学びを活かして自ら調べようとしている。</p>	<p>○自分と地域社会とのかかわりが意識できる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災等の被害の様子が分かる写真資料 ・東日本大震災の震度分布図 ・江東区の航空写真 ・東京都の過去と今後の可能性（東京湾北部地震の被害想定簡易資料）を示した地震発生件数グラフ ・江東区総合防災訓練の写真 	<p>①〈関連〉大地震が起きたら私たちのまちでは、どのような被害があるのだろうか。</p> <p>②〈時間〉私たちのまちでは、これまでどんな地震があったのだろうか。これからどんな地震があるのだろうか。</p> <p>③〈関連〉大地震のために誰がどのようなことをしているのだろうか。どのようにつながっているのだろうか。</p> <p>○友達とともに表現し合い、考えを深める指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災クラスの地震が江東区で起きたらどうなるか話し合う。 <p>○追究意欲を高める学習問題を作り、その意欲が継続する指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、大地震が起きることを想定して、前小単元までに培われた見方・考え方を生かし学習問題を作り、「誰が」「何を」

〈学習問題〉
いつ起こるか分からない大地震から、わたしたちの暮らしを守るために、だれがどのようなことをしているのだろうか。

			<p>「どのように」調べるか学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地震発生前」「地震発生時」「地震発生後」の時系列に予想を分類整理する。
調べる	<p>〈目指す児童像〉 大地震による被害から人々の安全を守るための関係諸機関や地域の人々の取組について、見学・聞き取り調査や文章資料等を通して調べ、携わる人々や友達とかかわったり、関連図に表現したりすることで、人々の働きを関連的にとらえるとともに、携わる人々の思いや願い、自分の生活とのかかわりについて考える。</p>	<p>○地域社会において実際に社会に参画している人々の工夫や努力、思いや願いが分かる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内の大地震に備えた施設、設備 ・安全点検表 ・校舎構内図 ・避難訓練年間計画 ・備蓄倉庫の中身の写真 ・普通の体育館と避難所になった体育館の写真 ・副校長の話 ・町会長さんの話 ・町会の防災訓練の写真 ・地域の防災マップ ・江東区役所防災課Aさんの話 ・江東区地域防災計画をもとに作成した自作資料 ・「地震のときはこうしよう！」警視庁 ・消防署の大地震への対処が分かる自作資料 	<p>○学習計画をもとに追究意欲が継続し、「問い」につなげる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習問題の予想や前時の学習を振り返り、本時の学習につなげる。 ○実際に社会に参画している人々と交流する指導の工夫 ・学校の大地震に備えた施設、整備の見学、副校長、区役所の人、町会長さん等とかかわり、聞き取り調査をしたり、人々の思いや願いを汲み取ったりする。 ○思考を整理し、深めるための図や表を使って自分の考えを深めることができる指導の工夫 ・学校と地域、学校と区役所等、それぞれの関係諸機関の連携体制について関連図のよさを意識してまとめながら、区役所を中心とした関係諸機関の連携体制についての関連図へと広げていく。 ○学習したことをまとめ、新たな問いにつなげる指導の工夫 ・本時のまとめ、考えたこと、新たに生まれた「問い」を自分の言葉で表現する。 <p>① 〈関連〉大地震が起きたときのために、学校ではどのような対策や準備がなされているのだろうか。</p> <p>② 〈関連〉大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、誰がどのようなことをするのだろうか。</p> <p>③ 〈関連〉地域の人々は、大地震に備えてどのようなことをしているのだろうか。</p> <p>④ 〈関連〉大地震に備えて、区役所はどこと、どのようなつながりがあるのだろうか。</p> <p>⑤ 〈関連〉大地震が起きたら、警察署や消防署の人たちは、どのようなことをしているのだろうか。</p>
まとめる	<p>〈目指す児童像〉 大地震による被害から人々の安全を守るために、関係諸機関や地域の人々が連携し、協力して体制をとっていることについて、自分の生活や地域社会とのかかわりで考え、表現している。</p>	<p>○地域の社会的事象の特色やよさ、相互の関連、意味などに対する見方・考え方、自分とのかかわりを深める教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各時間の教材やノート ・子供が作る関連図（自分たちが入った図） 	<p>○思考を整理し、深めるための図や表を使って自分の考えを深めることができる指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「区・学校・地域・消防署や警察署等」、自分とのつながりを友達と話し合いながら関連図に表現する。 <p>① 〈関連〉学校、地域、区役所はどのようにつながっているのだろうか。このつながりに私たちはどのように守られているのだろうか。</p>

<p>いかす</p>	<p>〈目指す児童像〉 安全な暮らしを守るために、地域の状況に応じて、人々が新たな取組をしていることに興味をもち、自分たちで安全な暮らしを守るために何をしたらよいか自ら考えようとしている。</p>	<p>○これからの地域社会について考えを深め、社会の一員としての意識が高められる教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aマンションの写真やマンションの管理組合長さんの話 ・学区の住宅の様子分かる地図と写真 	<p>①〈関連〉私たちはどんなまちに住んでいて、これから起きる地震のためにAさんのようにどんなことをすればよいのだろう。</p>	<p>○これからのよりよい地域社会について表現し合い、考えを深める指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aマンションと自分の住んでいる家や地域の様子とを比べ、これからどうしたらよいか、友達や管理組合長さんとかかわりながら考える。
------------	--	--	--	--

7 学習指導計画（全13時間 本時 第5時）

時	ねらい	○主な学習活動 ・学習内容等	□留意点 ◎資料 ◇評価【観点】
つ か む	① 地震の経験を振り返ったり、東日本大震災の被害の様子（写真等）を見たりしながら、大地震による被害の大きさや、私たちの安全な生活が脅かされることに気づき、今後の学習への関心をもつ。	<p>○大地震に遭遇した経験やニュース等で見 た大地震について知っていることや感じ たことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とても揺れる。・いきなり揺れて、驚いた。 ・東日本大震災では、津波が起こった。 ・東日本大震災では、東京でも被害が起きた。 ・東京でも、電車が止まったり、停電が起き たりした。 ・避難所でたくさんの人が生活しなければなら なかった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大地震が起きたらどのような被害がある のだろうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○東日本大震災の被害の様子（写真）から、 気が付いたことや思ったことをもとに、江 東区で大地震が起きたときにどのような 被害が起こるのか話し合う。 ・机の上や棚の中のものが落ちる。 ・棚がたおれる。 ・火事が起きる。 ・津波が起きる。 ・マンションが壊れる。 ・地割れが起こる。 ・液状化が起こる。 ・死亡者、負傷者がたくさん出る。 ・電気、水道、ガスが止まる。 ・通信手段がなくなる。 ・交通機関が止まる。（電車やバス） ・商店や工場の営業ができなくなる。 ・避難所生活を送る人が出る。 <p>○本時の学習を振り返り、地震の被害につい て、考えたことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震はとてもこわいものである。 ・大地震がさまざまな被害につながる。 	<p>□事前に、東日本大震災時の様子等 を家庭で保護者等と話す機会を もてるようにする。</p> <p>□児童の親族等で地震の被害に遭 われた方がいないか事前に把握 し、配慮できるようにする。</p> <p>□児童の発言に合わせて写真を提 示し、発言を広げていく。</p> <p>□東日本大震災が東京でも被害が あったことを確認し、被害が広範 囲に渡ることを実感できるように にする。</p> <p>□江東区も新木場地区の液状化被 害などがあった。</p> <p>◎東日本大震災等の被害の様子が 分かる写真資料</p> <p>◎東日本大震災の震度分布図</p> <p>◎江東区の航空写真</p> <p>□まちの様子の学習内容を想起さ せたり、航空写真を見せたりし ながら、大地震が起きるとどの位 被害が広がるのか問いをもって 資料にあたれるようにする。</p> <p>□命や生活に関わる被害が広範囲 で起こることに気付かせる。</p> <p>◇【関・意・態】アー①</p>
	② 東京都の過去の大地震の発生の様子や、それらを踏まえた江東区の総合防災訓練の取り組みについて資料から読み取ったことをもとに、学習問題	<p>○東京都の過去の大地震の発生の様子をグ ラフで知り、その中で東京での被害が最大 であった関東大震災について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、たくさんの地震が起きてきた。 ・今後も、30年以内に東京で大きな地震が起 こることが予想されている。 ・関東大震災は、1923年9月1日に発生 した、観測史上最大の被害を東京にもたら した。 	<p>□過去には大地震の被害がなかつ たのか問いをもたせてから、グラ フを提示する。</p> <p>□今後をグラフに空白で示し、これ から大地震が起こるかもしれない という意識をもたせる。</p> <p>◎地震発生件数のグラフ</p> <p>◎東京湾北部地震の被害想定簡 易資料（グラフの先に貼り付け）</p>

	<p>をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・関東大震災では、多くの人が亡くなったり、行方不明になったりした。 <p>○関東大震災を契機に設定された「防災の日」を踏まえて、江東区では毎年、総合防災訓練を実施していることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所の人が参加しているようだ。 ・警察や消防、自衛隊の人たちがいる。 ・地域の人たちも、訓練に参加している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>これまでの学習をいかして、学習問題をつくらう。</p> </div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p><学習問題></p> <p>いつ起こるか分からない大地震から、わたしたちの暮らしを守るために、だれが、どのようなことをしているのだろう。</p> </div>	<p>◎関東大震災の被害を示した資料</p> <p><input type="checkbox"/>総合防災訓練の様子が分かる写真を提示し、その内容や参加している人たちに目を向けさせる。</p> <p><input type="checkbox"/>東日本大震災を契機に、総合防災訓練への取り組みに変化があることを知らせる。</p> <p>◎江東区総合防災訓練の写真</p> <p>◎前時の写真資料</p> <p><input type="checkbox"/>前時の写真資料をもとに、江東区の被害の予想を想起させる。</p> <p>◇【思・判・表】イー①</p>
③	<p>学習問題に対する予想をもとに、学習計画を立てる。</p>	<p>○前時までの学習内容、学習問題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てよう。</p> </div> <p>○これまでの学習をもとに、大地震の被害への対処について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、学校で先生の指示のもと、避難訓練をしている。 ・大地震が起きると、火事も起きるから、消防署の人たちが消火していると思う。 ・大地震で建物の下敷きになった人たちを、警察や自衛隊の人が助けていると思う。 ・「江東区」と書かれた服を着ている人がいたから、区役所の人も関わっていきそうだ。 ・区役所の人たちは、警察や消防に連絡ができるように準備しているのではないか。 ・避難所では、みんなが一緒に生活をするから、誰かが中心になっていると思う。 ・学校が避難所になっているから、学校の先生たちも関わりがあるのではないか。 ・地域には避難する場所が決められているのではないか。 ・学校だけではなく、まちの人たちも避難訓練をして準備をしている。 ・学校の先生たちは避難所になったときのた 	<p><input type="checkbox"/>学習内容や学習問題を教室に掲示しておき、いつでも振り返ることができるようにしておく。</p> <p><input type="checkbox"/>予想を「大地震発生時」「大地震発生後」「大地震発生前」の時系列に整理し、どのような立場の人たちが、どのようなことをするのかを具体的に考えさせる。</p> <p><input type="checkbox"/>予想を短冊に記入させ、話し合いながら黒板に時系列で整理していく。</p> <p><input type="checkbox"/>予想を話しあった後に、たくさんの人たちが関わることに気付かせ、それらの人々が協力し合っているのではないか、ということを考えられるようにする。児童からそのような発言が出てきた際には、称賛して取り上げる。出ない場合は、教師から発問する。</p> <p><input type="checkbox"/>前時までの資料や生活経験を根拠に考えさせる。</p> <p>◎前時までの資料</p>

		<p>めの準備をしていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察の学習でもそうだったように、様々な機関が協力しているのではないか。 <p>○予想をもとに、それぞれの立場の人たちが、どのようにつながっているか考えて、関連図に書き表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校に避難してくるのは、地域の人たちだから、学校と地域の人たちは避難所の関係でつながっているのではないか。 ・総合防災訓練は江東区が開いているから、消防署や警察署にお願いして参加してもらっているのではないか。 ・警察の学習では、区役所が地域の人たちに物を貸し出したり、お金を助成したりしていたから、区役所と地域の人たちにも、そういったつながりがあるのではないか。 <p>○学習計画を立てる。</p> <p>「だれについて」</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校（自分たちや先生） (2) 地域の人たち (3) 区役所の人たち (4) 警察署と消防署の人たち <p>「何を」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きたときにどのようなことをしているのか。 ・地震が起きたときのためにどのような対策や準備をしているのか。 <p>「どのように」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー（聞き取り） ・見学 ・インターネット 	<p>□何をきっかけにして関連しているかという視点で、児童の発言を促す。</p> <p>□前小単元までに培われた見方・考え方を生かし「だれについて」「何を」「どのように」調べるか学習計画を立てる。</p> <p>◇【思・判・表】イー①</p>
調べる	④ 大地震が起きたときのために、学校では、どのような対策や準備がなされているのか調べ、校内の防災設備について調べたことを、マップにまとめる。	<p>○大地震が起きたときのための、学校での対策や準備について、学習問題に対する予想を振り返り、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私たちは、毎月避難訓練を行っている。 ・先生たちは、避難所の準備をしている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大地震が起きたときのために、学校ではどのような対策や準備がなされているのだろうか。</p> </div> <p>○学校の大地震への対策や準備について、見学したり、資料を見たりして調べる。</p>	□「教室内の状況」、「避難訓練などへの取り組み」、「校舎内の設備」

		<p><教室内の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イスには防災頭巾をつけている。 ・テレビは落ちないように、台に固定されている。 ・ロッカーが壁に固定されている。 <p><避難訓練などへの取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、地震を中心に様々な災害を想定して行われている。 ・先生たちは、毎月、安全点検を行い、危険なところがないかチェックしている。 <p><校舎内の設備></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校内のいたるところに、消火器や消火栓、煙感知器などが設置されている。 ・非常用の放送設備があり、緊急に放送を流すことができる。 ・柱を強くし、倒壊しないようにしている。 ・防災無線が設置されている。 ・プールの裏に、備蓄倉庫がある。 <p>○校舎内の設備について調べたことを、マップにまとめ、考えたことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの階にも消火器などの設備があるので、どこで火災が起きても対処しやすい。 ・柱を強くしているのは、大地震で学校が倒壊しないようにするためだと思う。 ・プールの裏の備蓄倉庫は、学校が避難所になったときに使われるものが入っているのではないかな。 <p>○本時のまとめを書く。</p>	<p>の3点について調べさせる。</p> <p>□校舎内の設備を調べる際には、自分の予想をもとに、実際に歩いて、自分の目で調べられるようにする。</p> <p>□調べて分かったことが、なぜ行われていると思うかを問い、その意味を考えられるようにする。</p> <p>◎避難訓練年間計画</p> <p>◎安全点検表</p> <p>◎校舎構内図</p> <p>□調べて分かったことを、拡大した校舎構内図に書き表させていく。</p> <p>□設置されている設備が、実際に地震が起きた時に、どんな役割を果たすのか考えられるようにする。</p> <p>□次時に向けて、大きな地震が起きたときには、学校が避難所として機能することを捉えさせる。</p> <p>◇【関・意・態】アー①</p> <p>【技】ウー①、②</p>
⑤ 本時	<p>大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれがどのようなことをするのか調べ、区役所や地域とのつながりについて理解する。</p>	<p>○備蓄倉庫の中身の写真を提示し、だれがそれを準備しているか予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「江東区」と文字が入っているから区役所の人たちが買って準備していると思う。 <p>○地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれがどのようなことをするのか、避難所の写真から予想できることをもとに、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区役所の人が、避難してきた人たちのために、備蓄倉庫の中身を配るのではないかな。 ・学校の先生が、体育館の中を段ボールで区切り、部屋のようにすると思う。 	<p>◎備蓄倉庫の中身の写真</p> <p>□備蓄倉庫の中身について、だれが準備しているのかという視点で資料を調べさせ、区役所などとのつながりを予想させる。</p> <p>□つかむ段階での避難所の写真等を提示して、児童が避難所で行われていることを予想できるようにする。</p> <p>◎避難所の写真</p>

		<p>大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれが、どのようなことをするのだろうか。</p> <p>○副校長先生の話から、大地震が起きたときに、学校が避難所となることを確認し、避難所の設置や運営について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに避難所が指定されている。 ・区役所、学校、地域の人々が避難所の運営について会議を行っている。 ・避難所になったときには、それぞれ役割分担が決まっており、協力して避難所が運営される。 ・避難所を運営する中心は、地域の人たち（災害協力隊）である。 ・避難してきた人たちの名簿を作る。 ・生活のルールやペットの飼育のルールなどを決めている。 <p>○本時のまとめをかく。</p>	<p>□調べる前に、どうしたら分かるか子供たちに問いかけ、考えさせる。</p> <p>□避難所は区によって指定されていることを捉えさせる。</p> <p>□学校の教職員、区役所、地域の人々の役割が定められていることを捉え、運営の中心が地域の人たち（災害協力隊）だということをつまみさせる。</p> <p>□事実を話してもらい、その意味について、子供たちが考えられるようにする。</p> <p>◎副校長先生の話</p> <p>□個人で書いた後に、友達と交流して、図を書き直したり、言葉を加えさせたりする時間をとる。</p> <p>◇【技】ウー① 【知・理】エー②</p>
⑥	<p>地域の人々が、大地震が起きたときにすることや、大地震が起きたときのためにしている対策や準備について調べ、地域の人々と関係機関とのつながりについて理解する。</p>	<p>○避難所における地域の人たちの役割を振り返り、大地震に備えてどのような対策や準備をしているか予想し、本時のめあてを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震が起きたら、すぐに動けるように日頃から訓練をしている。 <p>地域の人々は、大地震に備えてどのようなことをしているのだろうか。</p> <p>○大地震が起きたときに、地域の人々がどのようなことをするのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅で生活できない場合は、地区班ごとに集まってから避難する。 ・地区班で、不明な人がいたら、手分けして確認する。 ・避難の際に、助けが必要な人のところへ助けに行く。 ・明治安田生命のビルにも避難できる。 <p>○互いに助け合ったり、避難したりするため</p>	<p>□大地震が起きたときと起きた時のための対策や準備という時系列で考えさせる。</p> <p>◎東陽二丁目町会長（災害協力隊長）下田さんの話</p> <p>□休日に行われていた地域の防災</p>

		<p>にどのような対策や準備をしているかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度、町会で防災訓練を行っている。 ・防災訓練は、消防署や消防団と協力して、開催している。 ・地域の防災倉庫の点検を行っている。 ・地域の防災倉庫は区役所が設置していて、食料や衣類などが入っている。 ・避難の際に、助けが必要な人を確認している。 ・避難所運営会議で区役所や学校と協力している。 <p>○学習したことをもとに、大地震が起きたときの地域の人々の働きや備え、関係機関とのつながりを関連図にまとめる。</p> <p>○本時のまとめを書く。</p>	<p>訓練の写真を提示し、たくさんの人が集まっている様子を捉えさせ、興味・関心をもたせる。</p> <p>◎東陽二丁目町会長（災害協力隊長）下田さんの話</p> <p>◎町会の防災訓練の様子の写真</p> <p>◎東陽2丁目の防災マップ</p> <p>□個人で書いた後に、友達と交流して、図を見直したり書き足したりする。</p> <p>◇【技】ウー①、②</p> <p>【知・理】エー②</p>
⑦	<p>大地震が起きたときのために、江東区の取組について聞き取りをしたり、資料を活用したりして調べる。</p>	<p>○これまでの学習から、大地震への区役所の対策や準備を予想し、課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の備蓄倉庫や、地域の防災倉庫に備蓄品を準備している。 ・地域ごとに避難所を指定している。 ・学校や地域の人たちと協力して、避難所運営会議を開いている。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大地震に備えて、区役所はどこと、どのようなつながりがあるだろうか。</p> </div> <p>○区役所の大地震に備えた対策や準備について調べる。</p> <p><安全な町にする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所にもなる学校の耐震化を平成21年度までに終えている。 <p><ライフラインの確保></p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道、電気、ガス、通信が途切れないようにし、途切れた場合は、すぐに対応する。 <p><けがをした人への対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都や医師会などと連携して、被災者の救護をしている。 ・避難所に救護所を設置する。 <p><帰宅困難者への対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の近くに集まる人たちを安全な場所へ誘導して、混乱を防止する。 	<p>◎江東区地域防災計画を基に作成した自作資料（防災課の役割、大地震に対する備え）</p> <p>◎江東区役所ホームページ</p> <p>□資料から調べるようにし、適宜、児童が防災課の人に質問できるようにする。</p> <p>□個人で書いた後に、友達と交流したり区役所の人に質問したりして、図を見直したり書き足したりする。</p> <p>□様々な機関とのつながりをとら</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく会社にとどまれるよう、対策をお願いする。 <p><避難所の設置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所を定めて設置している。防災マップを作って区民に周知している。 ・地域の人や学校と協力して、避難所の円滑な運営に努めている。 <p><防災訓練の実施></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1度、総合防災訓練を行っている。 ・地域の人々や関係諸機関の人々と協力して年に4回、地域訓練を行っている。 <p>○区役所の人々の思いや願いを考えたり、聞いたりして吹き出しにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民のみなさんの安全を守りたいという使命感をもって仕事をしています。 <p>○本時のまとめを書く。</p>	<p>える中で、区役所が大地震への対策の中心となっていることに気づかせていく。</p> <p>◇【技】ウー①</p>
⑧	<p>区役所を中心に大地震の発生時に相互に連携して緊急事態に対処する体制をとっていることを理解する。</p>	<p>○これまでの学習を踏まえて、大地震が起きたときの、連絡体制等について予想し、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震が起きたら、すぐに区役所から様々な機関に連絡が入る。 ・区役所の担当者が、すぐに避難所にかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>大地震が起きたら、区役所を中心にして、どのようなつながりがあるのだろうか。</p> </div> <p>○関係諸機関の連絡体制について調べ、関連図にまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大地震が発生すると、国から東京都に情報が入るようになっている。 ・江東区は東京都と連絡を取り合っている。 ・防災無線等で区民に避難を呼びかける。 ・無線で警察、消防や区内の施設に連絡をする。 ・被害の状況などについて、お互いに連絡を取り合うようになっている。 ・夜に大地震が起きたら、区役所の人々が駆けつけることになっている。 <p>○区役所の人々の思いや願いを考えたり、聞いたりして吹き出しにまとめる。</p>	<p>□地震はいつ起こるか分からないことを確認し、区役所に人がいない場合についても考えさせる。</p> <p>□警察の単元で学習した110番通報のしくみを想起させる。</p> <p>◎江東区地域防災計画をもとに作成した自作資料</p> <p>□区役所を中心とした連絡体制について、矢印を使って図に書き表す。連絡の方法や内容について書き足していくようにする。</p> <p>◇【知・理】エー①</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ早くみんなを助けたいと思ってがんばっています。 ・連絡を取りやすくするために、日ごろから会議をするなどしています。 <p>○本時のまとめを書く。</p>		
	⑨	<p>大地震が起きた際の警察と消防の緊急の対処について調べ、被害を最小限にいくとめるための働きについて理解する。</p>	<p>○学習問題に対する予想を振り返り、本時の課題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察は、地震で動けなくなった車をどけている。 ・消防は、火事を消している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>大地震が起きたら、警察や消防は、どのようなことをしているのだろうか。</p> </div> <p>○警察の人たちがしていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の被害状況を確認している。 ・被災者の救出活動をしている。 ・交通規制をして、救急車や消防車が通る道路を確保している。 ・行方不明者の受付をしている。 <p>○消防の人たちがしていることを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火事をすぐに消している。 ・被災者の救出活動をしている。 <p>○学習したことをもとに、大地震が起きたときの警察や消防の被害を最小限にいくとめるための働きについて関連図にまとめる。</p> <p>○本時のまとめを書く。</p>	<p>□前時を振り返り、警察や消防には、大地震が発生した時に、区役所から連絡がはいっていたことを想起させる。</p> <p>◎「地震のときはこうしよう！」警視庁</p> <p>◎消防署の地震への対処が分かる自作資料</p> <p>◇【知・理】エー①</p>
まとめる	⑩ ⑪	<p>調べたことを関連図にまとめ、学習問題について考える。</p>	<p>○大地震への対処や防災の取組について振り返る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区・学校・地域のつながりを図に表し、学習問題についてまとめよう。</p> </div> <p>○大地震に備えた取組について、「区役所」「学校」「地域」の取組について関連図にまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>区・学校・地域のつながりに自分はどのように守られているのだろうか。</p> </div> <p>○関連図の中に「自分」を位置付けて、自分の生活と関連付けて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校にいても、地域にいてもわたしは守ら 	<p>□ノートに書いた各自の関連図を振り返らせる。</p> <p>□はじめは、個人で図を作成し、説明し合ったり、補足し合ったりする時間を設定する。</p> <p>□関連図には、取組の内容を具体的に書き入れていくようにする。</p> <p>□「学校にいるときに地震が起こったら」「地域にいるときに大地震が起こったら」と具体的に考えさ</p>

			<p>れている。</p> <p>・わたしは、こんなに協力して大地震に備えている地域にいるのだな。</p>	<p>せる。</p> <p>◇【知・理】エー③</p> <p>【思・判・表】イー②</p>
い か す	⑫	<p>安全な地域を守るために地域の状況に応じて、人々が新たな取組をしていることに関心をもち、自分たちで安全なくらしを守るために何をしたらよいか考える。</p>	<p>○A マンションの自治会長さんの話から、地域の課題に応じてマンションとして独自に災害協力隊を組織した取組について調べる。</p> <p>○A マンションと自分の住んでいる家や地域の様子を比べ、自分たちで安全なくらしを守るために、これからどうしたらよいか話し合う。</p>	<p>◎A マンションの写真</p> <p>◎A マンションの自治会長さん写真</p> <p>◎自治会長さんの話</p> <p>◎学区住宅の様子が分かる地図と写真</p> <p>◇【関・意・態】アー②</p>

8 本時の指導（5／13）

（1）本時のねらい

大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれがどのようなことをするのか調べ、区役所や地域とのつながりについて理解する。

	○主な学習活動 ・内容	◎資料 □留意点 ◇評価
つかむ5	○備蓄倉庫の中身の写真を提示し、だれがそれを準備しているか予想する。 ・「江東区」と文字が入っているから区役所の人たちが買って準備していると思う。	◎備蓄倉庫の中身の写真 □備蓄倉庫の中身について、だれが準備しているのかという視点で資料を調べさせ、区役所などとのつながりを予想させる。
調べる	○大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれがどのようなことをするのか、避難所の写真から予想できることをもとに、本時のめあてを設定する。 ・区役所の人、避難してきた人たちのために、備蓄倉庫の中身を配るのではないか。 ・学校の先生が、体育館の中を段ボールで区切り、部屋のようにすると思う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;">大地震が起きたときに、学校に開設される避難所では、だれが、どのようなことをするのだろうか。</div> ○副校長先生の話から、大地震が起きたときに、学校が避難所となることを確認し、避難所の設置や運営について調べる。 ・地域ごとに避難所が指定されている。 ・区役所、学校、地域の人々が避難所の運営について会議を行っている。 ・避難所になったときには、それぞれ役割分担が決まっており、協力して避難所が運営される。 ・避難所を運営する中心は、地域の人たち（災害協力隊）である。 ・避難してきた人たちの名簿を作る。 ・生活のルールやペットの飼育のルールなどを決めている。	□つかむ段階での避難所の写真等を提示して、児童が避難所で行われていることを予想できるようにする。 □区役所や地域の人々とのつながりに関する予想が出れば、賞賛して取り上げる。 ◎避難所の写真 □避難所は区によって指定されていることを捉えさせる。 □学校の教職員、区役所、地域の人々の役割が定められていることをおさえ、運営の中心が地域の人たちだということをつまみさせる。 □学校に先生たちがいない場合にも、学校が避難所になることを捉えさせる。 □事実を話してもらい、その意味について、子供たちが考えられるようにする。 □10月にPTAのお祭りと一緒に、区役所や地域の人たちと協力して防災訓練を開くことにも触れる。 ◎副校長先生の話 ◇【技能】 施設・設備などを観点に基づいて見学・聞き取り調査を行ったり、写真や統計などの資料を活用したりして、地震への対処や防災の取組について、必要な情報を集め、読み取っている。
まとめる10	○本時のまとめをかく。	□個人で書いた後に、友達と交流して、図を書き直したり、言葉を加えさせたりする時間をとる。 ◇【知・理】 関係機関は地域の人々と協力して地震への対処や防災に努めていることを理解している。

(2) 板書計画

